

# も く じ

ページ	ページ
平均……………2	いくつ分を求める①～③ …… 41
平均を求める①～⑧ ……3	単位量あたりの文章題①～③ …… 44
平均(0をふくむ) …… 11	単位量あたりのまとめテスト①～③ …… 47
0をふくむ平均①② …… 12	速 さ…………… 50
いろいろな平均①～③ …… 14	速さを求める①② …… 51
のべと平均…………… 17	進んだ長さ きより …… 53
のべと平均①②…………… 18	きよりを求める①② …… 54
平均の文章題①～⑤…………… 20	時 間…………… 56
平均のまとめテスト①～⑤ …… 25	時間を求める①②…………… 57
単位量あたり(こみぐあい) …… 30	秒速、分速、時速①～③…………… 59
単位量あたり(こみぐあい) ① …… 31	速さの図 $\frac{\text{ティ-}}{\text{T}}$ 図…………… 62
単位量あたり「基準の量」 …… 32	T図を使って①～⑤ …… 63
基準の量を求める①～③…………… 33	速さのまとめテスト①～③ …… 68
単位量あたり「比べる量」 …… 36	速さの応用問題(旅人算) ①～⑧ …… 71
比べる量を求める①～③…………… 37	人口密度①②…………… 79
単位量あたり「いくつ分」 …… 40	————— 答え ————— 81

# まえがき

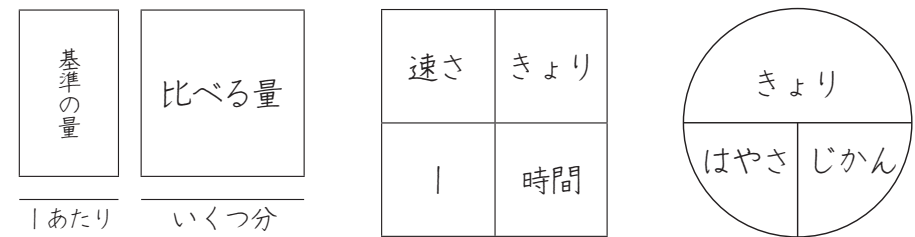
平均は生活の中でよく使われます。算数テストの平均点とか、6年生50人の平均体重とか、京都の4月の平均気温などです。理科や社会科の本にも表や図で使われています。

平均は、いくつかの数量のでこぼこをならして平らにすることですから、水そうをイメージし、水そう図をかくとよく理解できます。



単位量あたりも生活の中でよく使われています。旅客機の時速とか、自動車の1日の生産台数とか、日本の人口密度などです。なぜ単位量あたりかということ、時速なら1時間あたり、人口密度なら1km<sup>2</sup>あたりのように、1あたりの大きさを表す数量だからです。

単位量あたりも、図を使うと問題文の中の数量の関係が目に見えてよく理解できます。下のようなものです。



問題を読んだら図をかく、図を見て問題を解くようにしましょう。

単位量あたりは、1あたりの量が、時速50kmなら50km/時、人口密度なら250人/km<sup>2</sup>のような表し方があります。この表し方にもなれるようにしましょう。